

大学番号：私立293

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

徳島文理大学 保健福祉学部 口腔保健学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 村崎学園

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部

職名・氏名 部長・岩崎<sup>イワサキ</sup>洋<sup>ヒロシ</sup>

電話番号 088-622-0097

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tks.bunri-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健福祉学部

<口腔保健学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人村崎学園

## (2) 大学名

徳島文理大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒770-8514  
徳島県徳島市山城町西浜傍示180番地

〒770-8560  
徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)	(タムラ ヨシユキ) 田村 禎通 (平成30年4月)	
学部長	(タムラ ヨシユキ) 田村 禎通 (平成24年4月)	(タタラ カツノリ) 多田羅 勝義 (平成30年4月)	
学科長等	(ナカノ マサノリ) 中野 雅徳 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保健福祉学部 口腔保健学科 学士（口腔保健学）	保健衛生学関係 （看護学関係及び リハビリテーション 学関係を除く。）	4 年	40 人	— 年次 人	160 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	0.37倍	— 倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	44 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	40 ( 1 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	43 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	21 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	22 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	24 ( 1 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	43 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	21 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	22 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	24 ( 1 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	25 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	16 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	9 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	10 ( 1 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	—		0.62		0.40		0.22		0.25				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			25 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	9 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	11 [ 1 ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	・2年次に1名編入学者が含まれている。
2年次					25 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	9 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次							25 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	16 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次									25 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計			25 [ - ] ( - )		41 [ - ] ( - )		50 [ - ] ( - )		61 [ 1 ] ( 1 )		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	25 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	41 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	50 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	61 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0.00} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0.00} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0.00} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健福祉学部 口腔保健学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野 (一般総合科目)	倫理学A	1・2後	2									兼1
	歴史学A	1・2後	2									兼1
	音楽A	1・2後	2									兼1
	美術A	1・2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	心理学A	1・2前	2									兼1
	社会学A	1・2後	2									兼1
	教育学A	1・2前	2									兼1
	情報処理	1・2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	数学A	1・2後	2									兼1
	物理学A	1・2後	2									兼1
化学A	1・2後	2									兼1	
応用生物学A	1・2前	2									兼1	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
健康スポーツA	1・2前	1										兼1
健康スポーツB	1・2後	1										兼1
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
英語A①	1・2前	1										兼1
英語A②	1・2後	1										兼1
英語B①	1・2前	1										兼1
英語B②	1・2後	1										兼1
英語C①	1・2前	1										兼1
英語C②	1・2後	1										兼1
英語D①	1・2前	1										兼1
英語D②	1・2後	1										兼1
外国語総合科目A①	1・2前	1										兼1
外国語総合科目A②	1・2後	1										兼1
外国語総合科目C①	1・2前	1										兼1
外国語総合科目C②	1・2後	1										兼1
小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
文理学	1前	2				1						
小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
人体の構造・機能学Ⅰ	1後	2										兼2
人体の構造・機能学Ⅱ	1後	2				2						
生化学(栄養学基礎・代謝学を含む)	1後	2				1						
小計(3科目)	—	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	兼2
口腔解剖学・口腔生理学Ⅰ	1後	2				1						兼1
口腔解剖学・口腔生理学Ⅱ	1後	2				1	1					
口腔解剖学・口腔生理学Ⅲ	2前	2				1						兼1
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
病理学(口腔病理学を含む)	2前	2				1	1					兼1
薬理学(歯科薬理学を含む)	2前	2				1						
微生物学(感染学・免疫学を含む)	2前	2				1						
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
歯科衛生統計	2前	1				1						
衛生行政	2前	1										兼1
衛生学・公衆衛生学	2前	2				2						
口腔衛生学	2前	2				1						
医療情報処理学	2前	1				1						
小計(5科目)	—	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	兼1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野 (一般総合科目)	倫理学A	1・2後	2									兼1
	歴史学A	1・2後	2									兼1
	音楽A	1・2後	2									兼1
	美術A	1・2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	心理学A	1・2前	2									兼1
	社会学A(未開講)	1・2後	2									兼1
	教育学A	1・2前	2									兼1
	情報処理	1・2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	数学A	1・2前	2									兼1
	物理学A	1・2後	2									兼1
化学A	1・2後	2									兼1	
応用生物学A	1・2前	2				1						
小計(4科目)	—	0	8	0	1	0	0	0	0	0	兼3	
健康スポーツA	1・2前	1										兼1
健康スポーツB	1・2後	1										兼1
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
英語A①	1・2前	1										兼1
英語A②	1・2後	1										兼1
英語B①	1・2前	1										兼1
英語B②	1・2後	1										兼1
英語C①	1・2前	1										兼1
英語C②	1・2後	1										兼1
英語D①(未開講)	1・2前	1										兼1
英語D②(未開講)	1・2後	1										兼1
外国語総合科目A①	1・2前	1										兼1
外国語総合科目A②	1・2後	1										兼1
外国語総合科目C①	1・2前	1										兼1
外国語総合科目C②	1・2後	1										兼1
小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
文理学	1前	2				1						
小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
人体の構造・機能学Ⅰ	1後	2				1						兼2
人体の構造・機能学Ⅱ	1後	2				2						
生化学(栄養学基礎・代謝学を含む)	1後	2				1						
小計(3科目)	—	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	兼2
口腔解剖学・口腔生理学Ⅰ	1後	2				1						兼1
口腔解剖学・口腔生理学Ⅱ	1後	2				1	1					
口腔解剖学・口腔生理学Ⅲ	2前	2				1						兼1
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
病理学(口腔病理学を含む)	2前	2				1	1					兼1
薬理学(歯科薬理学を含む)	2前	2				1						
微生物学(感染学・免疫学を含む)	2前	2				1						
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
歯科衛生統計	2後	1				1						
衛生行政	2後	1				1						
衛生学・公衆衛生学	2前	2				2						
口腔衛生学	2前	2				1						
医療情報処理学	2前	1				1			1			
小計(5科目)	—	7	0	0	3	0	0	1	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	口腔保健学概論	1前	2			3		2	1			
	小計(1科目)	—	2	0	0	3	0	2	1	0	0	
	発達系歯科学	3前	2									兼1
	保存系歯科学	3前	2			1						
	補綴系歯科学	3前	2			2						
	外科系歯科学	3前	2			1						
	歯科放射線学	3前	1									兼1
	歯科麻酔学	3前	2			1						
	小計(6科目)	—	11	0	0	4	1	0	0	0	0	兼2
	口腔疾患予防学	2後	2				1					
	口腔疾患予防学実習Ⅰ(歯周病予防処置)	2後	1				1	1	1			兼1
	口腔疾患予防学実習Ⅱ(う蝕予防処置)	3前	1			1		1	1			兼1
	高齢者口腔保健衛生学	3前	1			2						
	口腔保健衛生学基礎実習	2前	1			4						兼1
	摂食嚥下リハビリテーション学	3前	2			2						
	小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	1	0	0	兼2
	歯科保健指導論	2後	2			3						兼1
	歯科保健指導演習	2後	1			2		1				兼1
	食生活指導論	3前	2			1						
オーラルヘルスプロモーション	2前	1			2							
臨床心理学	2前	1									兼1	
医療倫理学	2前	1									兼1	
小計(6科目)	—	8	0	0	5	0	1	0	0	0	兼4	
歯科診療補助論	2後	2				1						
チーム歯科医療学	2後	1				1						
歯科診療補助論基礎実習Ⅰ	2後	1			1	1		1			兼2	
歯科診療補助論基礎実習Ⅱ	3前	1			3	1	2	1			兼3	
障がい者(児)口腔保健衛生学	3前	1									兼2	
口腔介護学	3前	2			3							
総合医科学	2後	2									兼1	
看護学概論	3前	1									兼1	
歯科医療リスク管理学	2後	1			1						兼1	
歯科英語	2前	1			1							
小計(10科目)	—	13	0	0	5	1	2	1	0	0	兼7	
口腔保健臨床実習Ⅰ(早期体験実習)	1後	2			1		2	1			兼1	
口腔保健臨床実習Ⅱ(一般歯科診療所)	3前→4後	10			1		2	1				
口腔保健臨床実習Ⅲ(病院歯科)	3前→4後	6			1		2	1				
地域歯科保健臨床実習	3後	2			1		2	1			兼1	
小計(4科目)	—	20	0	0	3	0	2	1	0	0	兼1	
コミュニケーション論	1前		1		1							
社会福祉概説	1前		2								兼1	
こころからたの理解	1前		2								兼1	
介護概論	1後		2								兼1	
ケアマネジメント論	3後		2								兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	1前		2								兼1	
現代社会と福祉Ⅱ	1後		2								兼1	
社会調査の基礎	2後		2		1							
社会保障	2後		2		1						兼1	
高齢者福祉に対する支援と介護保険制度	3前		2		3							
障がい者に対する支援と障がい者自立支援制度	3前		2		1						兼1	
小計(11科目)	—	0	21	0	5	0	0	0	0	0	兼4	
卒業研究	3前→4後		4		6	1						
小計(1科目)	—	4	0	0	6	1	0	0	0	0		
合計(86科目)	—	93	59	0	6	1	2	1	0	0	兼30	

卒業要件及び履修方法

卒業のためには、124単位以上を修得しなければならない。  
その内訳は次のとおりとする。  
・基礎分野(一般総合科目)のうち、人文系、社会系、自然系の各分野より12単位以上選択。(ただし、人文系、社会系、自然系の各分野はそれぞれ2単位以上を含むこと。)、体育・スポーツ科目2単位、外国語科目は「英語」4単位を含め4単位以上、文理学2単位、計20単位以上。  
・専門基礎分野より必修25単位、専門分野の「選択必修分野」からの選択必修13単位を含め必修75単位、卒業研究必修4単位の合計104単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	口腔保健学概論	1前	2			5		2	1			
	小計(1科目)	—	2	0	0	5	0	2	1	0	0	
	発達系歯科学	2後	2									兼1
	保存系歯科学	2後	2					1				
	補綴系歯科学	2後	2					2				
	外科系歯科学	2後	2					1				
	歯科放射線学	3前	1									兼1
	歯科麻酔学	3前	2					1				
	小計(6科目)	—	11	0	0	4	1	0	0	0	0	兼2
	口腔疾患予防学	2後	2					1				
	口腔疾患予防学実習Ⅰ(歯周病予防処置)	2後	1					1	2			
	口腔疾患予防学実習Ⅱ(う蝕予防処置)	3前	1					1	1	2		
	高齢者口腔保健衛生学	3前	1					1				
	口腔保健衛生学基礎実習	2前	1					4	1		1	兼1
	摂食嚥下リハビリテーション学	3前	2					3		2		
	小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	1	0	0	兼1
	歯科保健指導論	2後	2			3		2				
	歯科保健指導演習	2後	1			3		2				兼1
	食生活指導論	3前	2			1						
オーラルヘルスプロモーション	2後	1			2							
臨床心理学	2前	1									兼1	
医療倫理学	2前	1					1				兼1	
小計(6科目)	—	8	0	0	4	0	2	0	0	0	兼2	
歯科診療補助論	2後	2				2	1				兼1	
チーム歯科医療学	4後	1			1	1	1				兼4	
歯科診療補助論基礎実習Ⅰ	2後	1			2	1	2	1			兼1	
歯科診療補助論基礎実習Ⅱ	3前	1			3	1	2	1				
障がい者(児)口腔保健衛生学	3前	1									兼1	
口腔介護学	3前	2					2		2		兼1	
総合医科学	4後	2									兼1	
看護学概論	3前	1									兼1	
歯科医療リスク管理学	3前	1					3	1	2		兼1	
歯科英語	2前	1			1							
小計(10科目)	—	13	0	0	5	1	2	1	0	0	兼6	
口腔保健臨床実習Ⅰ(早期体験実習)	1後	2			1		2				兼1	
口腔保健臨床実習Ⅱ(一般歯科診療所)	3前→4後	10					4	1	2	1		
口腔保健臨床実習Ⅲ(病院歯科)	3前→4後	6					4	1	2	1		
地域歯科保健臨床実習	3後	2					4	1	2	1		
小計(4科目)	—	20	0	0	4	1	2	1	0	0	兼1	
コミュニケーション論	1前		1		1							
社会福祉概説	1前		2								兼1	
こころからたの理解	1前		2								兼1	
介護概論	1後		2								兼1	
ケアマネジメント論	4後		2								兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	1前		2				2			1		
現代社会と福祉Ⅱ	1後		2				3			1		
社会調査の基礎	3前		2		1							
社会保障	3前		2		1						兼1	
高齢者福祉に対する支援と介護保険制度	3前		2		2					1		
障がい者に対する支援と障がい者自立支援制度	3前		2		1					1	兼1	
小計(11科目)	—	0	21	0	6	0	0	1	0	0	兼5	
卒業研究	3前→4後		4		6	1	2	1				
小計(1科目)	—	4	0	0	6	1	2	1	0	0		
合計(86科目)	—	93	59	0	6	1	2	1	0	0	兼34	

卒業要件及び履修方法

卒業のためには、124単位以上を修得しなければならない。  
その内訳は次のとおりとする。  
・基礎分野(一般総合科目)のうち、人文系、社会系、自然系の各分野より12単位以上選択。(ただし、人文系、社会系、自然系の各分野はそれぞれ2単位以上を含むこと。)、体育・スポーツ科目2単位、外国語科目は「英語」4単位を含め4単位以上、文理学2単位、計20単位以上。  
・専門基礎分野より必修25単位、専門分野の「選択必修分野」からの選択必修13単位を含め必修75単位、卒業研究必修4単位の合計104単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))



【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野 (一般総合科目)	倫理学A	1-2後	2								兼1	
	歴史学A	1-2後	2								兼1	
	音楽A	1-2後	2								兼1	
	美術A	1-2前	2								兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	心理学A	1-2前	2									兼1
	社会学A	1-2後	2									兼1
	教育学A	1-2前	2									兼1
	情報処理	1-2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	数学A	1-2前	2									兼1
	物理学A	1-2後	2									兼1
化学A	1-2後	2									兼1	
応用生物学A	1-2前	2									兼1	
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
健康スポーツA	1-2前	1									兼1	
健康スポーツB	1-2後	1									兼1	
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
英語A①	1-2前	1									兼1	
英語A②	1-2後	1									兼1	
英語B①	1-2前	1									兼1	
英語B②	1-2後	1									兼1	
英語C①(未開講)	1-2前	1									兼1	
英語C②(未開講)	1-2後	1									兼1	
英語D①(未開講)	1-2前	1									兼1	
英語D②(未開講)	1-2後	1									兼1	
外国語総合科目A①	1-2前	1									兼1	
外国語総合科目A②	1-2後	1									兼1	
外国語総合科目C①	1-2前	1									兼1	
外国語総合科目C②	1-2後	1									兼1	
小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
文理学	1前	2			1							
小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
人体の構造・機能学Ⅰ	1後	2									兼2	
人体の構造・機能学Ⅱ	1後	2			1						兼1	
生化学(栄養学基礎・代謝学を含む)	1後	2			1							
小計(3科目)	—	6	0	0	2	0	0	0	0	0	兼3	
口腔解剖学・口腔生理学Ⅰ	1後	2			1						兼1	
口腔解剖学・口腔生理学Ⅱ	1後	2									兼2	
口腔解剖学・口腔生理学Ⅲ	2前	2			1						兼1	
小計(3科目)	—	6	0	0	2	0	0	0	0	0	兼3	
病理学(口腔病理学を含む)	2前	2			1	1					兼1	
薬理学(歯科薬理学を含む)	2前	2			1							
微生物学(感染学・免疫学を含む)	2前	2			1							
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	兼1	
歯科衛生統計	2前	1			1							
衛生行政	2前	1									兼1	
衛生学・公衆衛生学	2前	2			2							
口腔衛生学	2前	2			1							
医療情報処理学	2前	1			1							
小計(5科目)	—	7	0	0	3	0	0	0	0	0	兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野 (一般総合科目)	倫理学A	1-2後	2									兼1
	歴史学A	1-2後	2									兼1
	音楽A	1-2後	2									兼1
	美術A	1-2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	心理学A	1-2前	2									兼1
	社会学A	1-2後	2									兼1
	教育学A	1-2前	2									兼1
	情報処理	1-2前	2									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	数学A	1-2前	2									兼1
	物理学A	1-2後	2									兼1
化学A	1-2後	2									兼1	
応用生物学A	1-2前	2				1						
小計(4科目)	—	0	8	0	1	0	0	0	0	0	兼2	
健康スポーツA	1-2前	1										兼1
健康スポーツB	1-2後	1										兼1
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
英語A①	1-2前	1										兼1
英語A②	1-2後	1										兼1
英語B①	1-2前	1									兼1	
英語B②	1-2後	1									兼1	
英語C①	1-2前	1									兼1	
英語C②	1-2後	1									兼1	
英語D①	1-2前	1									兼1	
英語D②	1-2後	1									兼1	
外国語総合科目A①	1-2前	1									兼1	
外国語総合科目A②	1-2後	1									兼1	
外国語総合科目C①	1-2前	1									兼1	
外国語総合科目C②	1-2後	1									兼1	
小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
文理学	1前	2			1							
小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
人体の構造・機能学Ⅰ	1後	2					1					兼2
人体の構造・機能学Ⅱ	1後	2					2					兼1
生化学(栄養学基礎・代謝学を含む)	1後	2					1					
小計(3科目)	—	6	0	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2
口腔解剖学・口腔生理学Ⅰ	1後	2			1							兼1
口腔解剖学・口腔生理学Ⅱ	1後	2			1	1						兼1
口腔解剖学・口腔生理学Ⅲ	2前	2			1							兼1
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
病理学(口腔病理学を含む)	2前	2			1	1						兼1
薬理学(歯科薬理学を含む)	2前	2			1							
微生物学(感染学・免疫学を含む)	2前	2			1							
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	0	兼1
歯科衛生統計	2後	1			1							
衛生行政	2前	1			1							
衛生学・公衆衛生学	2前	2			2							
口腔衛生学	2後	2			1							
医療情報処理学	2前	1			1							
小計(5科目)	—	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床歯科学	口腔保健学概論	1前	2			4		2			兼1
	小計(1科目)	—	2	0	0	4	0	2	0	0	兼1
	発達系歯科学	2後	2								兼1
	保存系歯科学	2後	2			1					
	補綴系歯科学	2後	2			2					
	外科系歯科学	2後	2			1					
	歯科放射線学	3前	1								兼1
	歯科麻酔学	3前	2			1					
	小計(6科目)	—	11	0	0	4	1	0	0	0	兼2
	口腔疾患予防学	2後	2				1				
	口腔疾患予防学実習Ⅰ(歯周病予防処置)	2後	1				1	1	1		兼1
	口腔疾患予防学実習Ⅱ(う蝕予防処置)	3前	1			1		1	1		兼1
	高齢者口腔保健衛生学	3前	1			2					
口腔保健衛生学基礎実習	2前	1			4					兼1	
摂食嚥下リハビリテーション学	3前	2			2						
小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	1	0	兼2	
歯科保健指導論	2後	2			3						
歯科保健指導演習	2後	2			2		1			兼1	
食生活指導論	3前	2			1					兼1	
オーラルヘルスプロモーション	2前	1			2						
臨床心理学	2前	1								兼1	
医療倫理学	2前	1								兼1	
小計(6科目)	—	8	0	0	5	0	1	0	0	兼4	
歯科診療補助論	2後	2				1					
チーム歯科医療学	2後	1			1						
歯科診療補助論基礎実習Ⅰ	2後	1			1	1		1		兼2	
歯科診療補助論基礎実習Ⅱ	3前	1			3	1	2	1		兼3	
障がい者(児)口腔保健衛生学	3前	1								兼2	
口腔介護学	3前	2			3						
総合医科学	3前	2								兼1	
看護学概論	3前	1								兼1	
歯科医療リスク管理学	3前	1			1					兼1	
歯科英語	2前	1			1						
小計(10科目)	—	13	0	0	5	1	2	1	0	兼7	
口腔保健臨床実習Ⅰ(早期体験実習)	1後	2			4		2			兼1	
口腔保健臨床実習Ⅱ(一般歯科診療所)	3前~4後	10			1		2	1			
口腔保健臨床実習Ⅲ(病院歯科)	3前~4後	6			1		2	1			
地域歯科保健臨床実習	3後	2			1		2	1		兼1	
小計(4科目)	—	20	0	0	6	0	2	1	0	兼1	
コミュニケーション論	1前	1			1						
社会福祉概説	1前	2								兼1	
こころからの理解	1前	2								兼1	
介護概論	1前	2								兼1	
ケアマネジメント論	3後	2								兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	1前	2								兼1	
現代社会と福祉Ⅱ	1後	2								兼1	
社会調査の基礎	3前	2			1						
社会保障	3前	2			1					兼1	
高齢者福祉に対する支援と介護保険制度	3前	2			3						
障がい者に対する支援と障がい者自立支援制度	3前	2			1					兼1	
小計(11科目)	—	0	21	0	5	0	0	0	0	兼4	
卒業研究	3前~4後	4			6	1					
小計(1科目)	—	4	0	0	6	1	0	0	0	0	
合計(86科目)	—	93	59	0	6	1	2	1	0	兼35	

卒業要件及び履修方法

卒業のためには、124単位以上を修得しなければならない。  
その内訳は次のとおりとする。  
・基礎分野(一般総合科目)のうち、人文系、社会系、自然系の各分野より12単位以上選択。(ただし、人文系、社会系、自然系の各分野はそれぞれ2単位以上を含むこと。)、体育・スポーツ科目2単位、外国語科目は「英語」4単位を含め4単位以上、文理学科2単位、計20単位以上。  
・専門基礎分野より必修25単位、専門分野の「選択必修分野」からの選択必修13単位を含め必修75単位、卒業研究必修4単位の合計104単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床歯科学	口腔保健学概論	1前	2			6	1	2			
	小計(1科目)	—	2	0	0	6	1	2	0	0	0
	発達系歯科学	2後	2								兼1
	保存系歯科学	2後	2					1			
	補綴系歯科学	2後	2					2			
	外科系歯科学	2後	2					1			
	歯科放射線学	3前	1								兼1
	歯科麻酔学	3前	2					1			
	小計(6科目)	—	11	0	0	4	1	0	0	0	兼2
	口腔疾患予防学	2後	2					1			
	口腔疾患予防学実習Ⅰ(歯周病予防処置)	2後	1					1	2		
	口腔疾患予防学実習Ⅱ(う蝕予防処置)	3前	1					1	1	1	兼1
	高齢者口腔保健衛生学	3前	1					2			
口腔保健衛生学基礎実習	2前	1					4			兼1	
摂食嚥下リハビリテーション学	3前	2					2				
小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	1	0	兼2	
歯科保健指導論	2後	2			2		2				
歯科保健指導演習	2後	1			3		2			兼1	
食生活指導論	3前	2			1					兼1	
オーラルヘルスプロモーション	2後	1			2						
臨床心理学	2前	1								兼1	
医療倫理学	2前	1					4	1		兼1	
小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	0	0	兼3	
歯科診療補助論	2後	2			2		2			兼1	
チーム歯科医療学	4後	1			1		1				
歯科診療補助論基礎実習Ⅰ	2後	1			2		2	1		兼2	
歯科診療補助論基礎実習Ⅱ	3前	1			3	1	2	1		兼3	
障がい者(児)口腔保健衛生学	3前	1								兼2	
口腔介護学	3前	2					3				
総合医科学	3前	2								兼1	
看護学概論	3前	1								兼1	
歯科医療リスク管理学	3前	1					1			兼1	
歯科英語	2前	1			1						
小計(10科目)	—	13	0	0	5	1	2	1	0	兼6	
口腔保健臨床実習Ⅰ(早期体験実習)	1後	2			6	1	2	1		兼1	
口腔保健臨床実習Ⅱ(一般歯科診療所)	3前~4後	10			1		2	1			
口腔保健臨床実習Ⅲ(病院歯科)	3前~4後	6			1		2	1			
地域歯科保健臨床実習	3後	2			1		2	1		兼1	
小計(4科目)	—	20	0	0	6	1	2	1	0	兼1	
コミュニケーション論	1前	1			1						
社会福祉概説	1前	2								兼1	
こころからの理解	1前	2								兼1	
介護概論	1前	2								兼1	
ケアマネジメント論	3後	2								兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	1前	2								兼1	
現代社会と福祉Ⅱ	1後	2								兼1	
社会調査の基礎	3前	2			1						
社会保障	3前	2			1					兼1	
高齢者福祉に対する支援と介護保険制度	3前	2			3						
障がい者に対する支援と障がい者自立支援制度	3前	2			1					兼1	
小計(11科目)	—	0	21	0	5	0	0	0	0	兼4	
卒業研究	3前~4後	4			6	1					
小計(1科目)	—	4	0	0	6	1	0	0	0	0	
合計(86科目)	—	93	59	0	6	1	2	1	0	兼33	

卒業要件及び履修方法

卒業のためには、124単位以上を修得しなければならない。  
その内訳は次のとおりとする。  
・基礎分野(一般総合科目)のうち、人文系、社会系、自然系の各分野より12単位以上選択。(ただし、人文系、社会系、自然系の各分野はそれぞれ2単位以上を含むこと。)、体育・スポーツ科目2単位、外国語科目は「英語」4単位を含め4単位以上、文理学科2単位、計20単位以上。  
・専門基礎分野より必修25単位、専門分野の「選択必修分野」からの選択必修13単位を含め必修75単位、卒業研究必修4単位の合計104単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野 (一般総合科目)	人文科学関係科目	倫理学A	1-2後	2								兼1	
	歴史学A	1-2後	2									兼1	
	音楽A	1-2後	2									兼1	
	美術A	1-2前	2									兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
	社会科学関係科目	心理学A	1-2前	2									兼1
	社会学A(未開講)	1-2後	2									兼1	
	教育学A	1-2前	2									兼1	
	情報処理	1-2前	2									兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
	自然科学関係科目	数学A	1-2前	2									兼1
	物理学A	1-2後	2									兼1	
化学A	1-2後	2									兼1		
応用生物学A	1-2前	2			1								
小計(4科目)	—	0	8	0	1	0	0	0	0	0	兼3		
健康スポーツA	1-2前	1										兼1	
健康スポーツB	1-2後	1										兼1	
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
外国語科目	英語A①	1-2前	1									兼1	
	英語A②	1-2後	1									兼1	
	英語B①	1-2前	1									兼1	
	英語B②	1-2後	1									兼1	
	英語C①	1-2前	1									兼1	
	英語C②	1-2後	1									兼1	
	英語D①	1-2前	1									兼1	
	英語D②	1-2後	1									兼1	
	外国語総合科目A①	1-2前	1									兼1	
	外国語総合科目A②	1-2後	1									兼1	
	外国語総合科目C①	1-2前	1									兼1	
	外国語総合科目C②	1-2後	1									兼1	
小計(12科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6		
専門基礎分野	文理学	1前	2			1							
	小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0		
	人体の構造・機能学Ⅰ	1後	2			1						兼2	
	人体の構造・機能学Ⅱ	1後	2			2							
	生化学(栄養学基礎・代謝学を含む)	1後	2			1							
	小計(3科目)	—	6	0	0	4	0	0	0	0	0	兼2	
	口腔解剖学・口腔生理学Ⅰ	1後	2			1						兼1	
	口腔解剖学・口腔生理学Ⅱ	1後	2			1	1						
	口腔解剖学・口腔生理学Ⅲ	2前	2			1						兼1	
	小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	兼2	
	病理学(口腔病理学を含む)	2前	2			1	1					兼1	
	薬理学(歯科薬理学を含む)	2前	2			1							
微生物学(感染学・免疫学を含む)	2前	2			1								
小計(3科目)	—	6	0	0	3	1	0	0	0	0	兼1		
歯科衛生統計	2後	1			1								
衛生行政	2後	1			1								
衛生学・公衆衛生学	2前	2			2								
口腔衛生学	2前	2			1								
医療情報処理学	2前	1			1			1					
小計(5科目)	—	7	0	0	3	0	0	1	0	0	0		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門分野	口腔保健学概論	1前	2			5		2	1			
	小計(1科目)	—	2	0	0	5	0	2	1	0	0	
	臨床 歯科 医学	発達系歯科学	2後	2				1				兼1
		保存系歯科学	2前	2								
		補綴系歯科学	2後	2			2					
		外科系歯科学	2後	2			1					
		歯科放射線学	3前	1								兼1
		歯科麻酔学	3前	2			1					
	小計(6科目)	—	11	0	0	4	1	0	0	0	0	兼2
	歯科 予 防 処 置 論	口腔疾患予防学	2後	2				1				
		口腔疾患予防学実習Ⅰ (歯周病予防処置)	2後	1				1	2			
		口腔疾患予防学実習Ⅱ (う蝕予防処置)	3前	1			1	1	2			
		高齢者口腔保健衛生学	3前	1			1					
		口腔保健衛生学基礎実習	2前	1			4	1		1		兼1
		摂食嚥下リハビリテー ション学	3前	2			3		2			
	小計(6科目)	—	8	0	0	6	1	2	1	0	0	兼1
	歯科 保 健 指 導 論	歯科保健指導論	2後	2			3		2			
		歯科保健指導演習	2後	1			3		2			
		食生活指導論	3前	2			1					兼1
		オーラルヘルスプロモ ーション	2後	1			2					
臨床心理学		2前	1								兼1	
医療倫理学		2前	1			1						
小計(6科目)	—	8	0	0	4	0	2	0	0	0	兼2	
歯科 診 療 補 助 論	歯科診療補助論	2後	2			2	1				兼1	
	チーム歯科医療学	4後	1			4			1			
	歯科診療補助論基礎実 習Ⅰ	2後	1			2	1	2	1		兼2	
	歯科診療補助論基礎実 習Ⅱ	3前	1			3	1	2	1		兼1	
	障がい者(児)口腔保健衛 生学	3前	1								兼1	
	口腔介護学	3前	2			2		2			兼1	
	総合医科学	4後	2								兼1	
	看護学概論	3前	1								兼1	
	歯科医療リスク管理学	3前	1			3	1	2				
	歯科英語	2前	1			1						
小計(10科目)	—	13	0	0	5	1	2	1	0	0	兼5	
臨 床 実 習 (臨 床 実 習 を 含 む)	口腔保健臨床実習Ⅰ(早 期体験実習)	1後	2			1		2			兼1	
	口腔保健臨床実習Ⅱ(一 般歯科診療所)	3後→4後	10			4	1	2	1			
	口腔保健臨床実習Ⅲ(病 院歯科)	3後→4後	6			4	1	2	1			
	地域歯科保健臨床実習	3後	2			4	1	2	1			
	小計(4科目)	—	20	0	0	4	1	2	1	0	0	兼1
選 択 必 修 分 野	コミュニケーション論	1前		1		1						
	社会福祉概説	1前		2							兼1	
	こころからだの理解	1前		2							兼1	
	介護概論	1前		2							兼1	
	ケアマネジメント論	4後		2							兼1	
	現代社会と福祉Ⅰ	2後		2		2			1			
	現代社会と福祉Ⅱ	1前		2		3			1			
	社会調査の基礎	3前		2		1						
	社会保障	3前		2		1					兼1	
	高齢者福祉に対する支 援と介護保険制度	3前		2		2			1			
	障がい者に対する支援と 障がい者自立支援制度	3前		2		1			1		兼1	
小計(11科目)	—	0	21	0	6	0	0	1	0	0	兼3	
卒業研究	3後→4後	4			6	1	2	1				
小計(1科目)	—	4	0	0	6	1	2	1	0	0		
合計(86科目)	—	93	59	0	6	1	2	1	0	0	兼32	

卒業要件及び履修方法

卒業のためには、124単位以上を修得しなければならない。  
その内訳は次のとおりとする。  
・基礎分野(一般総合科目)のうち、人文系、社会系、自然系の各分野より12単位以上選択。(ただし、人文系、社会系、自然系の各分野はそれぞれ2単位以上を含むこと。)、体育・スポーツ科目2単位、外国語科目は「英語」4単位を含め4単位以上、文理学2単位、計20単位以上。  
・専門基礎分野より必修25単位、専門分野の「選択必修分野」からの選択必修13単位を含め必修75単位、卒業研究必修4単位の合計104単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
49 科目	37 科目	0 科目	86 科目	49 科目 [ 0 ]	37 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	86 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## 7 その他全般的事項

<保健福祉学部 口腔保健学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- ・学科内に臨床実習委員会、入学試験委員会、国家試験対策委員会、学生指導WG、カリキュラム・シラバス検討WG、広報・学生募集活動WGを組織した。
- ・学科会議
- ・全学及び学部組織として実施されている教務委員会、教育研究委員会、入学試験委員会、自己点検・自己評価委員会、学生指導委員会、広報担当委員会、HP委員会に学科代表委員を選任した。全学の委員会の学部代表として、全学入試委員会に藤澤教授が、センター試験委員会に吉岡昌美教授が、全学研究推進委員会に富岡教授が、全学のFD研究部会には西川教授が、入試制度検討部会に中野教授が保健福祉学部代表として選出された。

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- ・臨床実習委員会は隔週開催を基本としているが、休暇中は月1回開催し、3月中旬以降は新型コロナに関する学外実習の中止に対応するため高頻度で委員会を開催している。入学試験委員会関係の会議については不定期開催ではあるが各入試の実施、および募集要項の改定作業など本学教務部からの要請に応じ、時期によっては高頻度で実施している。国家試験対策委員会は年2回の学内模試および5回の学外全国模試、および学外講師派遣に対応するために随時開催する。学生指導WG、カリキュラム・シラバス検討WG、広報・学生募集活動WGは案件に対応し随時開催している。
- ・学科会議は毎週火曜日の15時から16時まで実施している。
- ・全学の委員会には学部代表として選出されている教員が全学委員会開催に合わせて出席している。

##### c 委員会の審議事項等

1. シラバス点検
2. 入試日、入試方法と評価基準(新制度に対する対応、編入学試験の検討)
3. 口腔保健学科募集要項
4. 口腔保健学科履修ガイド
5. 学習ポートフォリオ
6. 学生指導
7. 臨床実習計画の作成、実習マニュアル等の作成
8. 臨床実習受け入れ施設との連携(実習指導者会議)
9. 学外臨床実習中止に伴う代替実習
10. 新入生に対するオリエンテーション
11. 国家試験対策、学内模擬試験の実施、成績不良者への補講、学外講師の派遣

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

1. 募集要項を作成し、全国の高等学校に送付した。
2. 入試の実施: AO入試、指定校推薦、一般公募推薦、一般入試ⅠA,B、一般入試ⅡA,B、センター利用入試Ⅰ、Ⅱ、編入学試験に分けて実施した。
3. 「入試募集要項」「学生生活と履修の手引き」「履修ガイド」「授業科目のシラバス」等を作成した。

学科会議及びWGで取り上げられた項目は、臨床実習関係、シラバス点検、FD・SD研修会、入試関係、広報関係、口腔保健学科募集要項、口腔保健学科履修ガイド、学習ポートフォリオ、学生指導などであった。

##### b 実施方法

- ・学科会議は毎週火曜日の15時から25号館9階多目的室で開催してきた。学生指導WGは各学年担任が、カリキュラム・シラバス検討WGは西川教授が、学生募集活動WGは富岡教授が、臨床実習委員会は吉岡教授が、国家試験対策委員会は三宅教授がそれぞれ中心となって組織し開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全学及び学部内の各委員会へは、担当の委員がそれぞれ出席した。学科内の臨床実習委員会は5名、入学試験委員会および国家試験対策委員会は3名の中心メンバーが、その他のWGは学科会議に引き続き原則として教員全員参加で行っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ チューターおよび授業担当者からあがった学生指導上の問題点について全教員で対応を学科会議他で協議している。
- ・ 学科運営、教育・指導方針の確認、など全員で協議を進めている。
- ・ 学生の授業態度改善のための学生への指導と授業評価やアンケートの結果を踏まえた授業内容の改善に努めている。
- ・ 3年次後期からの学外臨床実習の準備として3年次前期の時間割空き時間に臨床実習準備講座を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により学外の臨床実習が中止となり、学内およびwebを利用した自宅、下宿での代替実習について、より高い質を担保するための準備を行っている。
- ・ 学内国家試験模擬試験結果を踏まえ習熟度別補習授業を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートについては、各授業科目終了時に行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価とアンケート結果に対して授業改善に向けたアクションプランを作成し学生に示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし



(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・設置の趣旨・目的の達成状況として、一昨年度までに整備された臨床実習室および基礎実習室、各教室で各学年の講義、演習、実習および学外で実施した臨地・臨床実習は授業科目の概要の講義等の内容に沿って順調に実施することができた。
- ・きめ細かい学生指導を行ったが、1年次学生の1名が体調不良で後期の授業が受けられなくなり留年した。他は入学者全員の進級が達成できている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年3月27日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成29年10月31日～11月2日、財団法人日本高等教育評価機構による評価を受審した。（資料2）

1. 評価の結果

【判定】

「評価の結果、徳島文理大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する。」

2. 次回の計画

未定。教育研究の質の向上をめざし、広く社会の支持が得られるよう教育研究活動に努めたい。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告いて記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無

[ (有) ・ 無 ]